

ベルコートフロアブル

BELLKUTE

登録番号 第19884号

種類名 イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤
iminocytadine tris (albesilate)

殺菌剤分類 M7

性状 白色水和性粘稠懸濁液体

有効年限 4年

有効成分 イミノクタジンアルベシル酸塩 30.0%

毒性 普通物(毒劇物に該当していないものを指している通称)

包装 500ml×20本、5ℓ×2本

■特長

- 幅広い殺菌スペクトラムを有し、多くの病害に対して優れた予防効果を発揮します。
- 細胞膜に作用し、膜機能や脂質合成を阻害します。また、他剤と作用点が多いため各種の薬剤耐性菌に対しても高い効果があります。
- フロアブル剤のため粉立ちもなく、薬剤の計量が簡単です。また作物の汚れも目立ちません。

最新の登録内容、
SDSはこちら

■適用病害名及び使用方法

(2022年12月21日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数	使用方法	
りんご	斑点落葉病 黒星病 輪紋病 褐斑病 すす点病 すす斑病	1,000 ~ 1,500	200 ~ 700	収穫前日まで	6回以内 但し 開花期以降 散布は 3回以内	8回以内 〔液剤及び水和剤 は合計6回以内 (開花期以降 は3回以内)、 塗布剤は2回以内〕	散布	
	黒点病	1,000						
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病 うどんこ病	1,500	200 ~ 700	収穫14日 前まで	5回以内	5回以内 〔塗布剤は2回以内、 液剤は1回以内〕	散布	
	そうか病 貯蔵病害(軸腐病)	1,000						
みかん	灰色かび病 貯蔵病害(青かび病) 貯蔵病害(緑かび病) 貯蔵病害(黒腐病)	1,000 ~ 2,000	200 ~ 700	収穫前日 まで	3回以内	3回以内	無人航空機 による散布	
	灰色かび病	10						4
	貯蔵病害(青かび病) 貯蔵病害(緑かび病)	10						5
	貯蔵病害(緑かび病)	20						10
かんきつ (みかんを除く)	灰色かび病 貯蔵病害 〔青かび病 緑かび病 黒腐病〕	1,000 ~ 2,000	200 ~ 700	収穫前日 まで	2回以内	2回以内	散布	
	幹腐病 そうか病 貯蔵病害(軸腐病)	1,000						

殺菌剤 ベルクートフロアブル

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数	使用方法	
小粒核果類 (うめ、すももを除く)	灰星病	2,000	200～700	収穫30日前まで	3回以内	3回以内	散布	
すもも	収穫3日前まで							
うめ	黒星病 灰色かび病 すす斑病	収穫30日前まで						
おうとう	灰星病	1,000～2,000		収穫7日前まで	2回以内	2回以内		
もも	灰星病 黒星病		収穫前日まで					
ネクタリン	ホモプシス腐敗病	1,500～2,000	100～300	収穫14日前まで	2回以内	2回以内		
くり	実炭疽病	1,000		収穫28日前まで	3回以内	3回以内		
キャベツ	菌核病			収穫14日前まで	5回以内	5回以内		
にんじん	うどんこ病 黒葉枯病 菌核病	8	2	収穫14日前まで	2回以内	5回以内 〔種子粉衣は1回以内、無人航空機散布は2回以内〕		無人航空機による散布
	斑点病							
かぼちゃ	うどんこ病	1,000	100～300	収穫7日前まで	4回以内	4回以内	散布	
らっきょう	灰色かび病				5回以内	5回以内		
たまねぎ	灰色腐敗病 小菌核病				4回以内	4回以内		
すいか	炭疽病				5回以内	5回以内		
メロン	うどんこ病 つる枯病				3回以内	3回以内		
にがうり	うどんこ病				4,000	100～300		収穫前日まで
きゅうり	菌核病 褐斑病 炭疽病 黒星病	2,000	3回以内	3回以内				
	なす				すすかび病 黒枯病 褐紋病			
トマト	灰色かび病 葉かび病	2,000～4,000	4,000	2回以内	2回以内			
ミニトマト	うどんこ病 すすかび病 斑点病							

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数	使用方法
いちご	炭疽病 輪斑病	1,000	100～300	育苗期(定植前)	5回以内	10回以内 〔育苗期は5回以内、 本圃では5回以内〕	散布
	うどんこ病	2,000～4,000		収穫前日まで(生育期)	5回以内		
	灰色かび病 炭疽病 黒斑病	2,000					
やまのいも	炭疽病	1,000	3	収穫7日前まで	5回以内	5回以内 〔種いもへの処理は1回以内、 無人航空機散布は3回以内〕	無人航空機による散布
	葉渋病	12		3回以内			
やまのいも(むかご)	青かび病	200	—	植付前	1回	1回	1～10分間種いも浸漬
茶	炭疽病 新梢枯死症 輪斑病	1,500～2,000	200～400	摘採7日前まで	2回以内	2回以内	散布
アスパラガス	斑点病	8	1.6	※収穫開始7日前まで	5回以内	5回以内	無人航空機による散布
	褐斑病	1,000	100～300				散布
チューリップ	褐色斑点病			発生初期	8回以内		
アイリス	青かび病	100	—	植付前	1回	8回以内	10分間球根浸漬
		200					30分間球根浸漬

※アスパラガスの使用時期は収穫開始7日前まで(収穫開始後は使用しない)。

作物名	適用場所	適用病害名	10アール当たり		使用時期	本剤の使用回数	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数	使用方法
			使用量	使用液量				
きゅうり	温室、ガラス室、ビニールハウス等密閉できる場所	灰色かび病 うどんこ病 褐斑病 炭疽病 菌核病 黒星病	150mℓ	10ℓ	収穫前日まで	7回以内	7回以内	常温煙霧
なす		灰色かび病 うどんこ病 すすかび病 黒枯病 褐紋病				3回以内	3回以内	

△ 効果・薬害などの注意 

1. 使用の際は、容器をよく振ってから使用してください。
2. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
3. 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲で使用してください。
4. 5℃以下では増粘あるいは固化により、容器から取り出しにくくなることがあるので、50℃以上の湯に容器の肩まで浸し、1時間以上経過した後、室温まで放置し、よく振ってから使用してください。
5. おうとうに使用する場合、着色期の散布では薬害（着色障害）が生じるおそれがあるので使用しないでください。
6. りんごの落花直後から落花後25日ごろまではさび果を生じるおそれがあるので、かからないように注意してください。
7. 西洋なしの品種ル レクチェではさび果を生じるので使用しないでください。
8. 缶桃14号等の缶詰用品種のももでは葉に薬斑を生じるので、かからないように注意してください。
9. かきの品種西村早生では葉に薬斑を生じるおそれがあるので、かからないように注意してください。
10. 幼果期のメロン、ばらに対して薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意してください。
11. キャベツに使用する場合、浸透性を高める効果のある一部の展着剤を混用すると薬害を生じる場合があるので、展着剤混用にあたっては事前にその適否を確認してください。
12. やまのいも（むかご）に使用する場合、種いも（やまのいも）を浸漬処理してください。
13. チューリップに使用する場合、花卉に薬害が生じるおそれがあるので、出蕾期以前に使用してください。
14. 蚕に対して毒性があるので、桑にかからないように注意してください。
15. 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
16. 無人航空機による散布を行う場合には、次の注意事項を守ってください。
 - (1) 散布機種種の散布基準に従って行ってください。
 - (2) 散布機種種に適合した散布置置を使用してください。
 - (3) 散布中に薬液の漏洩がないよう、事前に機体の散布配管その他散布置置の十分な点検を行ってください。
 - (4) 散布薬剤の飛散によって他の動植物等に影響を与えないよう、散布区域の選定に注意するとともに、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
17. 常温煙霧処理する場合には、次の事項に注意してください。
 - (1) 専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定及び使用にあたっては病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
 - (2) 作業はできるだけ夕刻行い、作業終了後6時間以上密閉してください。
18. 使用にあたっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
19. 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意   

20. 誤飲などのないよう注意してください。
21. 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
22. 薬液調製時及び使用の際は保護メガネ、農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
23. 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
24. 常温煙霧中はハウス内へ入らないでください。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後入室してください。

水産動植物への影響：水産動植物（甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に保管してください。

○使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

【農薬をご使用の際は】

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には、使用しないでください。
- 小児の手の届く所には、置かないでください。
- 空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。